



約45分の充実したご講演となりました



高祖学長(右)と聞き手をつとめたラウリア会長。なごやかに



Profile

高祖 敏明 Toshiaki Koso

1947年1月1日生まれ/71年上智大学文学部哲学科卒業/73年同大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了/76年同博士課程満期退学/上智大学教授、上智短期大学学長等を経て、2019年聖心女子大学学長、上智大学名誉教授に就任/2023年聖心女子大学学長退任/『イエズス会教育の歴史と対話』(共著 知泉書館2020年)『潜伏キリシタン図譜』(共編著 かまくら春秋社2021年)ほか、著書共著多数/キリシタン文化研究会会長、経済同友会インターンシップ推進協会理事、私学研修福祉会評議員ほか歴任

世界がコロナとの共生に動き始めている中、JASHは三年間開催出来なかった宮代ホールでの「JASHの日」(第三十七回)をようやく三月十四日に再開することが出来ました。コロナ前と同じではなく、飲食の伴う茶話会を行わない等注意深い感染対策のもと、参加者はJASH名誉会長シスター宇野三恵子、聖心会代表シスター田中玲子、役員、理事、各同窓会事前申し込み者等に制限して、参加者約八十名という規模を縮小したものでした。

当日は、高祖敏明学長をお迎えし、ラウリア会長を聞き手としてのご講演を拝聴しました。なぜ神父さまになられたか、好きな聖書のことについて、聖心女子大生「JASHの日」が開催できますことを願っています。



ホワイエではバザーを楽しみ旧交を温めました



構内には桜もちらほら



会長よりAMASC新体制の報告も

ポストコロナの「JASHの日」再開 高祖学長をお迎えして

JASH

Japan Alumnae Association of the Sacred Heart

だより

2023 No.33

Courage and confidence!

AMASC 2022-2026



日本聖心同窓会

「JASHの日」、資料委員会は展示を行いました。
企画展示は「幼稚園の日々」。幼稚園(一九〇年〜一九七二年)に関する貴重な資料を初公開しました。一九〇九年十二月六日明治政府発行の幼稚園の認可書(複製、聖心会提供)、武井武雄による表紙絵の園児の出席表(文化財的価値)、園児の図画工作品、写真をご覧頂くと共に、毎回展示の聖心女子大学始め姉妹校「回生写真、刺繍校章、制服、シグナル等」も好評でした。

聖心女子学院附属幼稚園の制服(1970年代)
スモックは聖心女子学院初等科(1930年代)

園児による図画工作品



資料委員会展示
『幼稚園の日々』



JASH 新会長挨拶

日本聖心同窓会会長
ラウリア 佳子
(み 64・宮 33)

過去二年の間、一堂に人が集まることが不可能な、閉塞感に満ちた生活が続いていましたが、今年度からJASHでは月一度の役員会・隔月の理事会もリモートを用いつつ対面での集まりが可能となりました。各同窓会も少しずつ以前のような総会やバザーの縮小版を試し始めています。私も小林みころ会総会、宮代祭、みころ会追悼ミサに参加をいたしました。そこで同じ場所に同じ目的で人が集うことのあたたかさ、生き生きとした賑やかさを改めて感じました。

コロナ後の再出発はJASHと国内八つの同窓会だけではありません。二〇二二―二〇二三年の会長国イタリアのナポリでの各国会長会議で二〇二六年までの次期会長を決定したAMASCも、米国出身の新会長を中心に、停滞したAMASCの活動を一歩前へ進め始めています。「感ずべき御母」の故郷であるローマでのAMASC世界大会は、コロナの影響で開催が叶いませんでしたが、次はきつと以前のように世界中の聖心同窓生と集うことが出来ると信じております。

私はみころ会員・宮代会員であり、同時にJASH会員でもあります。「JASHだより」をご覧になつていらっしゃる皆様も私と同じです。そして私たちは皆、AMASC会員でもあります。聖心を通して世界と繋がっていることをどうぞ心に留めてください。



JASH 名誉会長挨拶

聖心会日本管区管区長
シスター
宇野 三恵子
(み 54・宮 23)

二〇二二年度、コロナと共にという生活ではありましたが、姉妹校では活気ある学校生活が戻りつつあり、可能な限り、工夫して、学校行事に取り組んできました。学校の中心はもちろん授業ですが、学校行事は、重要な教育の場です。生き生きと取り組み、行事を通して成長していく児童・生徒・学生の姿を見るにつけ、聖心の教育において学校行事が果たす重要な役割を再認識させられます。そうした行事の中で最も大切な行事の一つが、クリスマスのお祝いです。昨年十二月、各校とも、制限を設けながらではありますが、三年ぶりの、クリスマス曲の歌声に包まれた聖心らしいお祝いを実施することができました。「飼ひ葉桶に眠る幼子イエスが、真の平和と喜びをもたらしてくださる救い主である」というクリスマスのメッセージを深く味わうひと時となりました。

私は東京聖心のお祝いに参加する機会に恵まれました。静寂の中で繰り広げられる聖書朗読や劇はもちろんのこと、何よりも感動したのは、三年ぶりに声を出して歌うことができる喜びとともに、生徒が伝えようとしていたクリスマスのメッセージです。闇夜に天使の歌声を聞き、馬小屋に駆け付けた羊飼いたちのように、生徒たちは、沈黙の中で聴こえてくる幼子の命の鼓動に耳を傾けていたことでしょう。

混沌とした現代世界にあつて、誰もが、自分自身の生きる方向性を見失いそうになることがあります。そんな時、一瞬でも心の中に静寂を保ち、人となられた神の命の鼓動に耳を傾けたいものです。



新旧の会長・副会長が揃って。
右から旧副会長Jacqueline de Montjoye、新会長Roselie Bellanca Posselius、旧会長Paola del Prete del Vaglio、新副会長Maria Asteinziaの各氏。下／各国会長会議が開かれたナポリ。



[AMASC 新体制]

AMASC(世界聖心同窓会)2022-2026

会長国はヨーロッパからアメリカに

新会長は Roselie Bellanca Posselius 氏

2022年10月29-30日にイタリアのナポリでAMASC(世界聖心同窓会)の各国会長会議が開かれました。今回はローマでの世界大会が開かれず会長や委任を受けた代表による会議となりました。JASH会長はコロナ禍の情勢を鑑み欠席・委任という形をとりました。新会長と副会長は満場一致でRoselie Bellanca Posselius氏とMaria Asteinzia氏に決まりました。二人はアメリカAASH (Associated Alumnae & Alumni of the Sacred Heart) の2019-2021の会長とボードメンバーです。

新体制のモットーは“Courage and confidence!”。今の時代にも通ずる聖マグダレナ・ソフィアが困難な問題にも屈しないようにとシスター達に言われたお言葉です。

当日はビデオ中継も予定されていましたが、うまくはいきませんでした。

しかし美しいナポリの聖心での各国会長会議は温かくリラックスした雰囲気の中で執り行われ、その後新会長はローマへ向かい、「感ずべき御母」の絵をトリニタ・デ・モンティで見た後、聖心会総長 Sister Barbara Dawsonを表敬訪問しました。

聖心会 みこころセンター



共に学び、祈り
分かち合う場

〒108-0072 東京都港区白金4-11-1
TEL・FAX: 03-6277-2561
メール: rscjmikokoro.center@gmail.com
HP: <https://www.m-sacred-heart.com/>

学校法人聖心女子学院 生涯学習センター

「いつでも、どこでも、誰でも学べる」それが生涯学習です。

2021年1月からオンライン講座を始めました。

<http://www.honbu-sacred-heart.jp/lc/>

姉妹校 はじまり物語

最初に蒔かれた小さな種には、大きな希望が託されていました。
姉妹校それぞれの、知ってるようで知らない創立の頃の物語を紹介します。

Photo Album



マザー吉川と小学生(1965年頃)。
小学校は1973年までありました。茶
色を基調に千鳥格子の制服は今も
あまり変わりません



創立の頃。宮の森の丘に竣工した
ばかりの校舎



シスター柳下。修道服でのスキー
(1960年代)



小学生と中学生が並んで朝礼
(1966年頃)



現在の制服。生徒たちのニーズに合
わせてスラックスや夏のポロシャツ、
パーカーも取り入れられています



現在の校舎。左手前は寄宿舎、右
は体育館です

札幌聖心女子学院

茂仁香会会長 眞島律子(茂13・眞13)

ここは世界に開かれた窓

一九六二年、アジアの教会の豊かな可能
性を認めた当時の総長マザー・デューバロン
が来日しました。北海道に聖心の教育
を、との声を受け北海道炭鉱汽船(株)
が土地の寄贈を申し出てくださった宮の
森の丘に立ち、ここで生徒が生き生きと
学院生活を送る様子を想像し「ここは世界
に開かれた窓」と述べ、札幌聖心女子学
院の設立が決断されました。

新しい時代の息吹は、新しい地でのみ
こころ(聖心)の教育への思いを募らせ、
東京から三光町の校長を長年務めら
れたマザー・吉川茂仁香が院長兼校長
として赴任、七名のシスターたちによつ
て一九六三年に中学一年生、小学一年生
を迎えて開校しました。

以来、保護者との家庭的な温かい交流
のうちに教育が続けられています。少人

数であっても活気ある学校で様々な活動
をして表彰され、文部科学省から多くの
指定をうけました。

「スーパーイングリッシュランゲージハイ
スクール」(SELEHI)(二〇〇六・二〇
〇八)「国際バカロレアの趣旨を踏まえた
教育の調査・研究指定校」全国から五校
を指定(二〇二二・二〇二四)「スーパーグ
ローバルハイスクール」(二〇二二・二〇二八)

授業には自ら学び自ら考える工夫が
凝らされ、探究型学習が盛んでディベ
ート、課題研究ミートイニング、個人研究に取
り組んでいます。クリスマスのお祝い九
日間の沈黙を守ってホームレスの方のため
のお米を集める昔ながらのプラクティス
を行い、社会福祉授業(点字、手話)、ボラ
ンティア活動、視覚支援学校、聴覚支援
学校との交流も長い歴史があります。

Photo Album



学院校舎。関東大震災で焼失した



1909年に落成した正門。かつては銀杏
並木の入り口にあった。正門は東京都
の歴史的建造物に指定されている



高等科卒業記念写真(1958年当時)



1918年完成の聖堂。震災で倒壊した



三光町修道院(1946年頃)



みこころ会 発足
1917年(大正6年)4月10日
みこころ会発足当時のメンバー。
1917年管区長マザー・サルモンによ
り正式に「みこころ会」として発足

聖心女子学院

みこころ会会長 上野愛子(み58・宮27)

自ら進んで困難に立ち向かう

東京聖心は一九〇七年、フランスの聖
心会総長マザー・ディグビーが会を日本
に差し向けることを決心し、日本宣教
の開始者をオーストラリア管区より派
遣することから始まった。オーストラリ
ア管区長マザー・サルモンの引率のもと、
マザー・ヘイドンはじめ四名は長崎、神
戸、横浜を経て東京に到着、麻布教会
ツルペン師の案内で麻布笄町の家に落
ち着き、ここを聖心会修道院にした。

教育を事業とする聖心会にとつて修道
院と学校とは一体であることから一九
〇八年、マザー・ヘイドンは学院設立の
必須条件である校地校舎に適した広
大な土地を探し、或るカトリック信者
より情報を得て芝白金三光町に売り
に出していた土地を獲得した。約三万坪
のこの土地は沢あり沼あり林あり坂

ありの草木の生茂る荒れ放題の土地で
あった。同年六月財団法人私立聖心女
子学院の設立認可があり、翌年三月に
校舎落成、四月より高等女学校、小学
校、幼稚園が開校した。校舎、聖堂、修
道院が落成されるも関東大震災、第二
次世界大戦下の空襲で校舎は焼失、建
立を繰り返し、現在に至る。

一九二七年、管区長マザー・サルモンを
中心に一回生九名、二回生八名、三回生
十三名が聖心を第二の家とし、マザー
を第二の母として慕い、「みこころ会」
が発足した。創始者マザー・バラの「自
ら進んで困難に立ち向かい、他人に苦
を与えず」という言葉を卒業生に贈つ
た。これを受けて卒業生自らがこのお
言葉を会のモットーとした。

みこころ会

会長 上野 愛子（み58・宮27）

コロナの影響はありましたが、今年度は活動範囲を広げることができました。二カ月ごとの常任幹事会は一部Zoomを活用しながらの対面会議、六月裾野墓参（役員、幹事の他JASH会長等が参加）、十月役員会、十一月追悼ミサ（遺族各二名、シスター、来賓、担当の係が参列）。また、二〇二三年二月には新入会員歓迎会に引き続き講演会（山種美術館館長山崎妙子氏（み64）による「日本画の楽しみ方 画家の技法と心を読み解く」）を開催いたしました。



裾野墓参



追悼ミサ

シンボルツリー



メタセコイア。
上皇后さまのご
成婚記念に植樹
されたもの

同窓会報告

各校のシンボルツリーを
紹介いたします。

真理茂会

2020年3月末を以って休会。

お問い合わせはJASH Webサイトまで。

三光会

会長 岡 聖子（下36・三保24）

コロナ禍、どのように同窓生の皆様と安全に繋がることが出来るか。新しく役員になった私たちがまず考えたことです。総会のメール開催、ホームページの作成、グッズの販売などZOOMでの定例会で話し合ってきました。十一月の追悼ミサではメールを配信させていただきました。学校が閉校になりコロナ禍で集うことが出来ない数年でしたが、少しずつ元のような生活とはいかないまでも安心して活動が出来ることを更に考え、皆様に発信していきたいと考えております。

是非、ホームページを訪ねていただけると嬉しいです。ホームページはJASH Webサイト「聖心ファミリー」「年間行事」の三光会の箇所からご覧ください。



玄関を入ると懐かしい制服を着たクマ
がお出迎えしてくれます

シンボルツリー



裏門から玄関まで案内してくれるように、花の季節にはツツジが綺麗に咲いています

茂仁香会

会長 眞島 律子（茂13・真13）

十二月十六日、勝谷太治司様をお迎えして札幌市内の大ホールにて「クリスマスミサ」六十年の感謝をこめて」が開催され、学校に関係あるたくさんの方々が共に祝いできました。生徒たちが聖劇や合唱、手話、演奏などとても頑張っており、創立五十周年の祈りとして作られた、生徒たちが種を受けて成長するだけではなく、自ら種を蒔く人になるという「種の祈り」を今も実践されていることを実感いたしました。



朗読と手話、演奏に合わせたの聖劇

シンボルツリー



美しい木々に囲まれたお庭の中でも白樺は真っ直ぐずっと立ち上がっていて明るく爽やかな札幌聖心の生徒のイメージそのものです



皆さまからのご寄付を学校にお届けしました

ドウシェーン会



快晴に恵まれた「秋のつどい」に参加



創立70周年記念に講堂の扉を新調しました。ドウシェーン会からも一部、ご寄付の形で協力いたしました

シンボルツリー



牧草地の木は、誰もその名前を知りませんが、誰もがよく知っています。ホームルームのお茶摘みの後で、この木まで散歩をしたり、木の下で雪遊びをしました

学院の行事である「秋のつどい」は三年ぶりに卒業生の来校が可能となり、東京支部、関西支部とともにオリジナルグッズなどを販売し、母校を訪れる事が心の拠り所であると感じました。十一月の追悼ミサには御遺族と共に参加することが出来ました。帰天されたシスターや先生方、卒業生を「思い」「祈る」ことは、今年度のドウシェーン会のテーマである「祈りと希望」にも通じる所です。ホームページには「海外便り」を新設しました。海外どこでも聖心の一員であることに心強さを感じていたのだと思います。

会長 三橋香 (下29・宮37)

語学校・ISSH アラムネ会



校舎の思い出は尽きません

シンボルツリー



学校に続く坂の途中にある木々は、これまでもこれからも、新しい校舎とともに生徒たちを見守ってくれます

コロナ後の生活を始めると世の中の変化を感じ取る事ができます。色々な出来事で不安定な中、新しい普通「New Normal」の生活に皆辿り着こうと努力しています。引き続きコロナ対策を講じながら『普通』の色々なイベントを計画し、校舎の建替プロジェクトにより注目を集める為今まで以上にコミュニケーションを取り、特に世界の同窓生の協力を集めることに専念しています。アラムネ一同私達の新しい『故郷』の建造に協力していきます。

会長 Mayling Woo Clements (1・18)

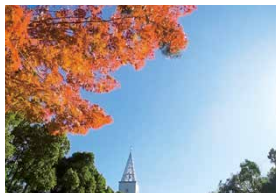
小林みこころ会

今年度に入り、感染症による活動自粛もいく分か緩和され、小林みこころ会では、十一月には二年半ぶりのオータムコンサートと同窓会館にて開催し、卒業生による箏曲演奏やピアノ演奏を楽しみました。また、ご遺族様をお呼びした追悼ミサも実施いたしました。クリスマスバザーは混雑状況を考えるとまだ対面で開催できないのでオンラインとなりました。年明けには高校を卒業し同窓会に入会する方々をお迎えして歓迎会を催します。

シンボルツリー



校内の銀杏が色づく頃、ざんなんを小学生が洗って授業参観の折に販売、ご寄付にまわす慣習がありました。秋は紅葉も登下校を彩ってくれます



11月12日に開催した2年半ぶりのヴェロニカオータムコンサートでは、池田洋子さん(27回生)のピアノ演奏、菊武粧子さん(80回生)と菊羽友久美子さん(86回生)の琴と三味線の演奏が皆さまの心を癒してくれました

会長 中村佳子 (小み53・宮35)

宮代会

会長 野本敦子 (小み48・宮30)



第43回宮代祭



留学生交流会

シンボルツリー



宮代会50周年記念に植樹された八重紅枝垂桜

二〇二二年度もコロナに翻弄される日々が続く中、活動の幅は少しずつ広がりました。三年振りに留学生をお招きしての交流会、会場を宮代会会館に限定した宮代祭を対面で開催しました。追悼ミサは高祖学長司式の下、理事会メンバーのみが参列。一月には、印刷費の高騰に苦慮しながらも『宮代』六九号を無事発行することができました。総会ではリモートを併用しながら宮代ホールにて対面開催。今後も、変化する状況に対応しながら同窓生の絆を紡いで参ります。

■役員会

- ・定例役員会：毎月第2火曜日 全11回(8月以外)
- ・臨時役員会：随時 今年度は必要に応じて理事会後に開催。

■ 理事会

- ・理事会：隔月第3火曜日 全6回(5月・7月・9月・11月・1月・3月)

■情報の発信

- ・「AMASCニュースレター」への寄稿：9月
- ・Webサイト・インスタグラムの運営：随時
- ・JASH紹介動画の貸出：随時
- 宮代会留学生交流会（5月24日）、茂仁商会新会員歓迎会（1月）、
小林みこころ会新卒生歓迎会（2月）、ドウシェーン会入会式（2月）、
みこころ会新会員歓迎会（2月）
- ・「JASHだより」33号の発行準備：2023年3月から2023年4月に発行時期を変更。
- ・「JASHリーフレット」の作成
- ・卒業生インタビュー動画第1弾公開（JASH-AMASC委員会制作）：9月～

■姉妹校同窓会行事への参加

- ・総会：小林みこころ会(5月21日) 宮代会(2023年2月18日)
(三光会・茂仁香会・ドウシェン会・みこころ会は書面開催のため不参加)
- ・裾野墓参：みこころ会主催(6月)
- ・バザー：宮代会(9月3日)(三光会チャリティーバザーは中止のため不参加)
- ・追悼ミサ：(縮小開催のためみこころ会のみ参加)
- ・東京支部同窓会：(茂仁香会・小林みこころ会は中止のため不参加)

■学校行事・評議委員会への出席

- ・卒業式：聖心女子大学卒業式（2023年3月11日）
（聖心インターナショナルスクール卒業式は縮小開催のため不参加）

■第37回「JASHの日」開催(2023年3月14日)

■その他

- ・ JASHグッズ販売：オンライン販売(随時)、バザー等参加時
- ・ 古切手処理：随時

- | | | | |
|--------------------|----------------------|-----|------------|
| ■ JASH名誉会長 | Sr. 宇野三恵子 | 管区長 | (み54・宮23) |
| ■ 聖心会代表 | Sr. 田中玲子 | | (み44・宮13) |
| ■ JASH会長 | ラウリア 佳子 | | (み64・宮33) |
| ■ JASH副会長 | 山田 あけみ | | (み60・宮29) |
| ■ JASH副会長 | 吉川 淳子(*) | | (み62・宮31) |
| ■ JASH書記 | 伊部 規子 | | (み76・宮45) |
| ■ JASH書記 | 佐野 由佳 | | (ド28・宮36) |
| ■ JASH会計 | 藏原 由季子(*) | | (みみ53・宮35) |
| ■ JASH会計 | 太田 里架 | | (みみ56・宮38) |
| ■ JASH監事 | 和田 美紀 | | (ド34・宮42) |
| ■ JASH監事 | 上田 佳代子 | | (みみ52・宮34) |
| ■ 茂仁香会会長 | 眞島 律子 | | (茂13・真13) |
| ■ みこころ会会長 | 上野 愛子 | | (み58・宮27) |
| ■ 三光会会長 | 岡 聖子 | | (ド36・三保24) |
| ■ 語学校・ISSHアラムネ会長 | Mayling Woo Clements | | (I'81) |
| ■ 宮代会会長 | 野本 敦子 | | (みみ48・宮30) |
| ■ ドウシェーン会会長 | 三橋 香 | | (ド29・宮37) |
| ■ 小林みこころ会会長 | 中村 佳子 | | (みみ53・宮35) |
| ■ 茂仁香会東京支部長 | 岡本 珠子 | | (茂22・三英46) |
| ■ 小林みこころ会東京支部長 | 山口 ひろ美 | | (みみ59) |
| ■ ホスピタリティ委員会委員長 | 小泉 マヤ | | (み62・宮31) |
| ■ 資料委員会委員長 | 吉川 富久子 | | (みみ51・宮33) |
| ■ JASH-AMASC委員会委員長 | 王 玲華 | | (み84・宮54) |

(*)=退任役員

2023年度は以下の新役員が加わり活動します。

- JASH副会長 上野 愛子 (み58・宮27)
■ JASH会計 岡森 あかね (小み56・宮38)



Activities

委員会活動

JASH-AMASC委員会

オンラインを中心とした活動でしたが対面での開催も漸く実現。卒業生へのインタビュー動画配信も無事スタートし、第2回目は吉成麻子さん(み70・宮39)にお話し頂きます。若いメンバーも新しく加わり、活気を感じる委員会となって参りました。



次回動画配信に向けて吉成麻子さん(左)と、新しいメンバーを迎えての定例会

資料委員会

2022年度は、村上直子さん(み59・宮28)を新委員として迎え、スタートしました。7月、8月はコロナ感染拡大防止のため、活動を休止せざるを得ない状況でしたが、本年度は委員会所蔵の資料の整理と同時にデータベース化もすすめています。また3年ぶりに「JASHの日」の展示を行いました(表頭頁を参照)。

資料委員会では寄贈していただける資料を募集しています。ご協力をお願いいたします。



JASH事務室で活動中

ホスピタリティ委員会

今年度も海外からの来客はなく、新たに担当する「シスターとの集い（仮称）」も具体的な活動は少し先になりそうです。資料を整理しコロナ禍明けに備えています。「JASHの日」にはミニバザー開催のお手伝いをしました（巻頭頁を参照）。



JASH事務室にて定例委員会

海外における「日本聖心同窓会 (JASH) 会員の集い」

世界各地に日本の聖心同窓生が暮らし、地域ごとにグループを作って親睦を深め、助け合っています。その中でも、右記の地域には「JASH会員の集い」があり、JASHは代表者の連絡先を管理しています。また、宮代会海外支部（シンガポール、ワシントン、南カフォルニア）でもJASH会員が一部に活動しています。

海外生活を始める方は、渡航前に、ぜひJASHにお問い合わせください。

■ 海外「JASH 会員の集い」の所在地

アメリカ合衆国	ニューヨーク サンフランシスコ／ベイエリア シカゴ アリゾナ
英国	
フランス	パリ
ドイツ	
オーストラリア	シドニー
タイ	バンコク



ニューヨーク(上)、バンコク(右)の集い

※上記以外の地域で活動されている同窓生のグループがありましたら、JASHにご登録ください。「JASHだより」やJASH Web サイトで、グループの存在をJASH会員に広くお知らせし、新しく渡航される同窓生との橋渡しをします。

今回は小学校で使用された英語の教科書を紹介いたします。“Here We Go”は、初めて英語を勉強する小学校1年生のための、当時珍しいカラーの絵がついた教科書です。

“Janet and John”はBook One ～ Book Fourまであります。どれもB6サイズで、1949年頃に聖心女子学院初等科で使用されました。



初等科の英語教科書

資料委員会では、同窓生の方々からご寄贈頂ける資料（制服、学生時代に使用されたもの等）を募集しています。

茂仁香会室

小さな学び舎にある小さなお部屋が私たちの「茂仁香会室」です。

発足当初からの資料や、友愛セルに使う備品が収められていて役員が座るときゆうぎゆう詰めになりますが、顔を突き合わせての会議は和やかに、意見も活発に行き交います。

特に活気づくのはやはり友愛セルの時です。会員の皆様からのたくさんの物品や手作り品のご寄付による売店と共に同窓生やお客様の憩いの場である「カフェMONICA」のメニューや喫茶室を彩るポップを考えるのが楽しみでした。



売店の隣に茂仁香会室があります。狭くても落ち着けるお部屋です



冬の校舎



春の校舎

■JASH ボランティア募集

「JASHの日」などのイベント、翻訳、海外からの会員の案内、通訳、車での送迎、宿泊提供など、JASHの活動のお手伝いをしてくださるボランティアを、常時募集しています。

申し込みは、JASH Web サイト「JASHボランティア募集」よりどうぞ。

■古切手も集めています！

AMASCは各国の同窓生から古切手を集め、スペインの同窓会が古切手市場で換金して、AMASCの活動に役立てています。使用済切手の周囲を5ミリほどを残し、JASH事務室までお送りください。未使用の切手も歓迎です。

富士山の麓、『聖心の森』と茶畑に囲まれた21万坪の静謐なキャンパス。2022年、創立70周年を迎えました。変わらぬ美しい景色が広がります。

学校法人聖心女子学院
不二聖心女子学院
中学校・高等学校
Fuji Sacred Heart School
Middle School & High School

International School
of the Sacred Heart
Growing with Courage and Confidence

info@iss.ac.jp www.iss.ac.jp

変わらない四季の風景が宮の森の丘に広がっています。

札幌聖心女子学院 中学校・高等学校
〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10-1
TEL: 011-611-9231 FAX: 011-612-0980
URL: https://spr-sacred-heart.ed.jp
FB: https://www.facebook.com/SapporoSeishin/

小林聖心
創立100周年を
一緒にお祝い
しませんか？

◆4月30日(日)学院祭 Homecoming Day 開催
◆卒業生向けの最新情報を、
小林聖心Instagramで公開中！

聖心女子大学
Sacred Heart Univ.
Rooted in the Past, Stepping into the Future

2023年に創立75周年を迎えます。
皆さまの温かいご支援をお願いいたします。

多様に、グローバルに、より良く生き抜く。

5年生から順次30名4クラスになり、新しい1歩を踏み出します。

2023年度
創立115年を
迎えます。

聖心女子学院 SACRED HEART SCHOOL
初等科・中等科・高等科
2024年度入学試験:初等科1年 / 初等科5年転入・編入 / 中等科1年・高等科生

聖心ファミリー
姉妹校の輪

Japan Alumnae Association of the Sacred Heart
JASH だより
2023 No.33

jash316 検索

JASH Web サイト

JASHに関する情報をいち早く掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

https://www.jash316.com/

▼ AMASC Web サイトはこちら
https://www.amasc-sacrecoeur.net

発行日 2023年4月1日
発行所 日本聖心同窓会(JASH)
発行人 ラウリア佳子
編集 JASH役員
住所 東京都渋谷区広尾4-3-1
聖心女子大学 JASH事務室
FAX 03-3407-0671
制作 (株)楽プランニング

学校法人聖心女子学院教育ネットワーク
Sacred Heart Six Sister Schools

日本国内の聖心姉妹校の
フェイスブックページをご存知ですか？
ぜひご覧ください。

https://www.facebook.com/SeishinNetwork

学校行事など日頃の学校の様子やトピックスを中心に
姉妹校6校の様々な情報を発信しています。